

プッシュスキャン

～ Windows 7編 ～

プッシュスキャン ～SMB 送信設定の概略～	2
作業 1 PC 側 送信先共有フォルダーの設定	3
1-1 ユーザーアカウントの作成	4
1-2 共有フォルダーの作成	8
作業 2 iR-ADV 側の送信設定	13
設定方法 1 リモート UI から宛先の登録	14
設定方法 2 iR-ADV のタッチパネルから宛先の登録	17
本体からの送信方法	22

プッシュスキャン ～SMB 送信設定の概略～

プッシュスキャンには大きく以下の2つの作業が必要です

- 作業1 PC側 送信先共有フォルダーの設定
- 作業2 iR-ADV側 送信宛先の設定

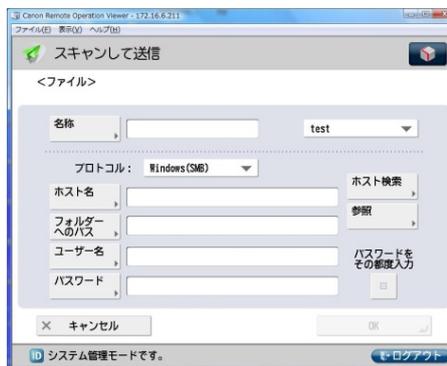
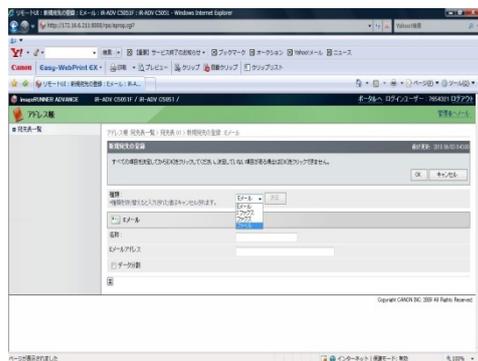
作業1 PC側共有フォルダーの設定

- 1-1 ユーザーアカウントの作成
- 1-2 フォルダの共有設定

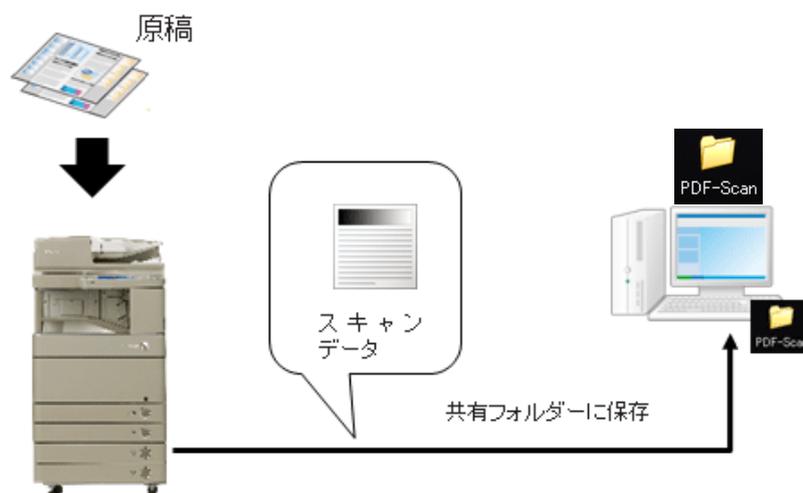


作業2 iR-ADV側の宛先設定

- 設定方法1 : PC上リモートUIで設定
- 設定方法2 : iR-ADV
タッチパネル上で設定



作業 1 PC 側 送信先共有フォルダーの設定



1-1 送信用ユーザーアカウントの作成



1-2 共有フォルダーの設定



- ユーザーアカウントには、「ローカルユーザーアカウント」と「ドメインユーザーアカウント」がありますが、ここでは「ローカルユーザーアカウント」での設定方法を解説しています。
- 「ドメインユーザーアカウント」でも送信設定は可能ですが、ネットワークの環境によっては設定しても上手く動作しない場合があります。

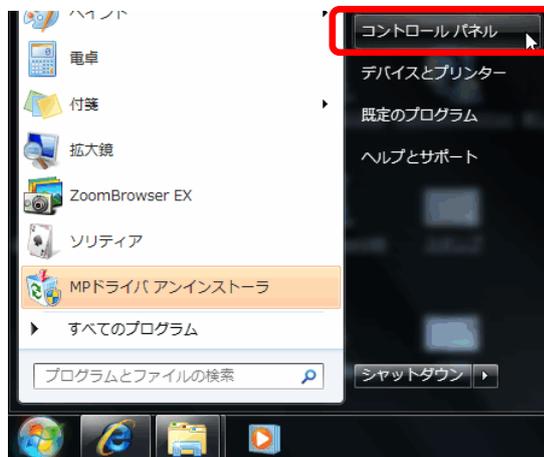
1-1 ユーザーアカウントの作成 (Windows 7)

iR-ADV から送信用のアカウントを作成します。

ここでは、例として「canon7」というユーザーアカウントを送信先の PC に作成し、「canon7」に共有フォルダー(共有フォルダー名:PDF-Scan)への書き込みの許可を設定する方法をご紹介します。

- ユーザーアカウント : canon7
- パスワード : password
- 共有フォルダー名 : PDF-Scan

1. [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。



2. [ユーザーアカウントの追加または削除] を開きます。

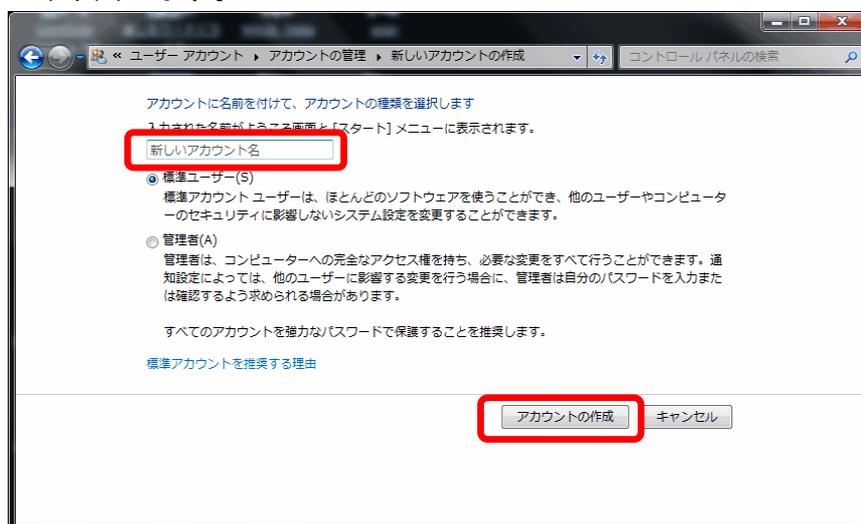


3. [新しいアカウントの作成]をクリックします。



4. [新しいアカウント名] に「canon7」と入力します。

標準ユーザーにチェックが入っている状態で、[アカウントの作成]をクリックします。



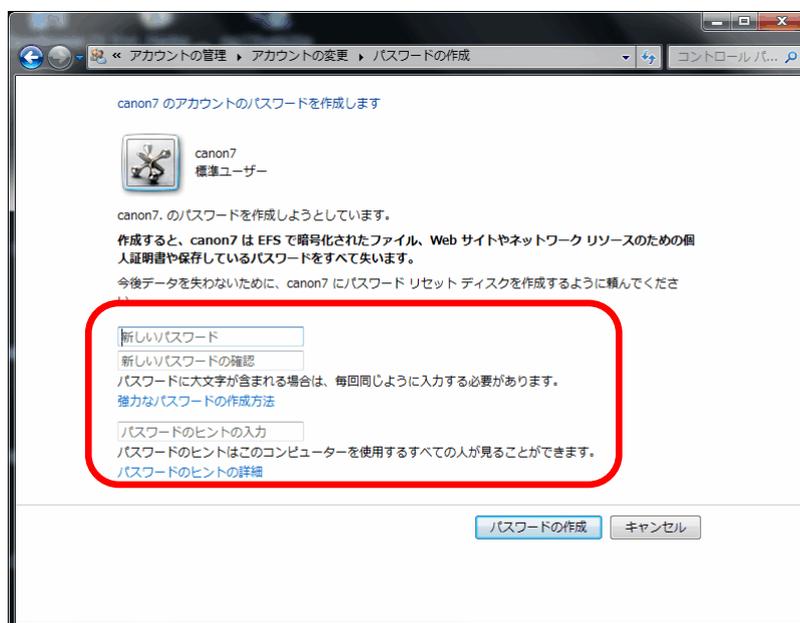
5. ユーザーアカウントが作成されました。この状態ではパスワードが無い状態です。[Canon7 ユーザー]をクリックして、次にパスワードを設定します。



6. [パスワードの作成]をクリックします。



7. 「新しいパスワード」「確認」「ヒント」を入力し、[パスワードの作成]をクリックします。今回の設定では『password』を入力します。



The screenshot shows a Windows password creation window for the user 'canon7'. The window title is 'パスワードの作成' (Create Password). The user's name 'canon7' and '標準ユーザー' (Standard User) are displayed. The text explains that the password will be encrypted and used for file sharing and network resources. It also notes that the password will be lost if not backed up to a password reset disk. The form contains three input fields: '新しいパスワード' (New Password), '新しいパスワードの確認' (Confirm New Password), and 'パスワードのヒントの入力' (Enter Password Hint). The first three fields are highlighted with a red rounded rectangle. Below the hint field is a link for 'パスワードのヒントの詳細' (Details of Password Hint). At the bottom, there are two buttons: 'パスワードの作成' (Create Password) and 'キャンセル' (Cancel).

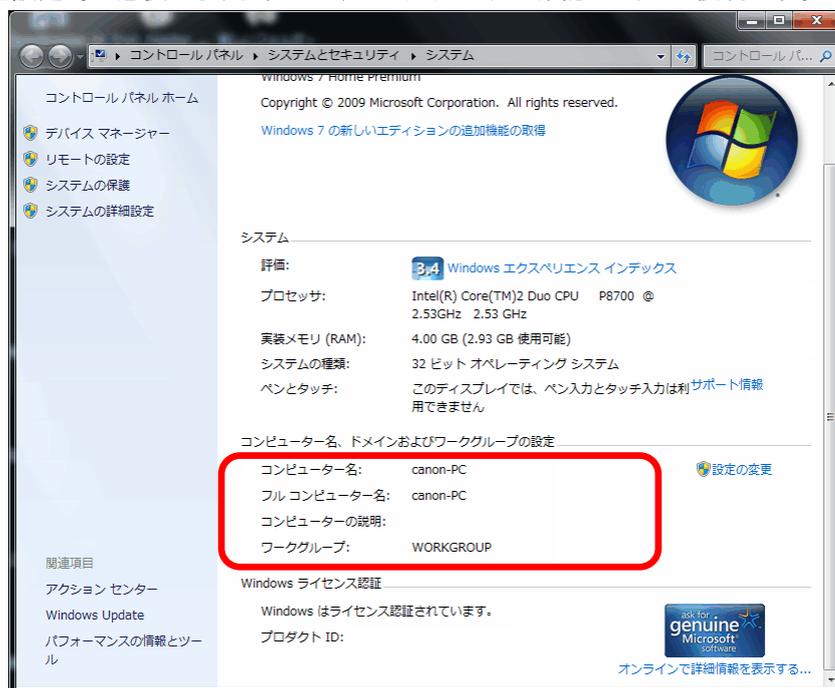
以上で、ユーザーアカウントの作成とパスワードの設定は完了です。

1-2 共有フォルダーの作成 (Windows 7)

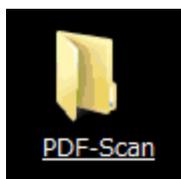
iR-ADV からの送信先となる「共有フォルダー」(共有フォルダー名: PDF-Scan)を該当 PC のデスクトップ上に作成します。

1. [プロパティ]でコンピューター名を確認します。

※この作業は共有フォルダーの作成には直接関係有りませんが、iR-ADV からの送信先設定時に必要となりますので、このタイミングで確認しておくと便利です。

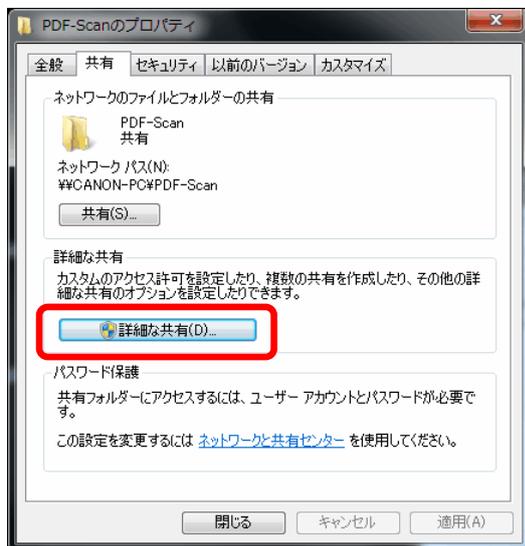


2. デスクトップ上で右クリックして、[新規作成]→[フォルダー]で新規フォルダーを作成した後、フォルダーの名称を「PDF-Scan」に設定します。



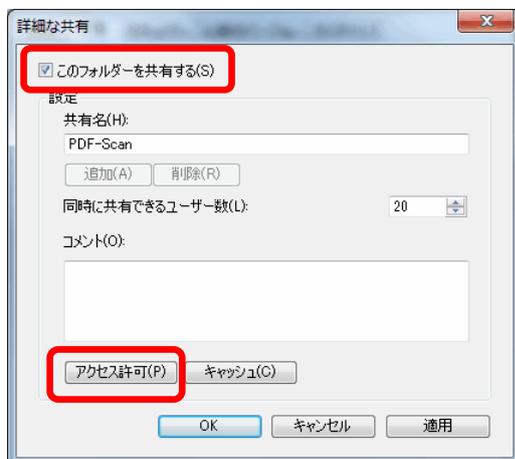
3. 共有のアクセス権の設定①

「PDF-Scan」フォルダーを右クリックして、[プロパティ]を選択し[共有]タブで[詳細な共有]をクリックします。



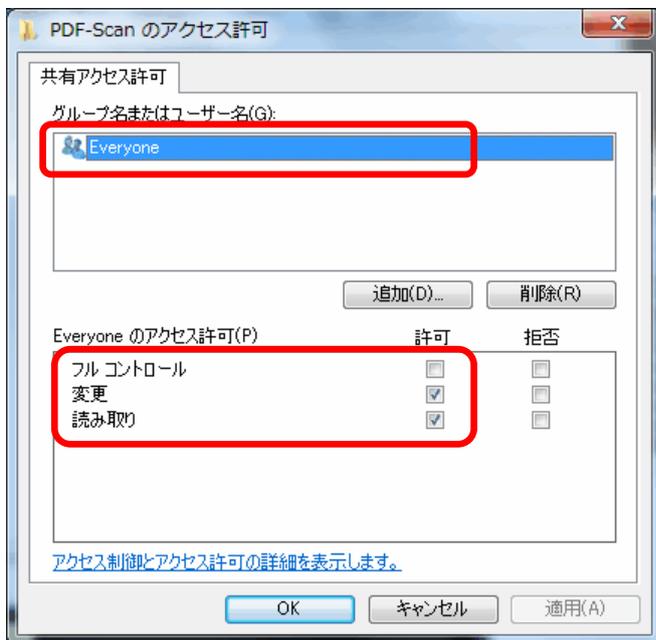
4. 共有のアクセス権の設定②

「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、[アクセス許可]をクリックします。



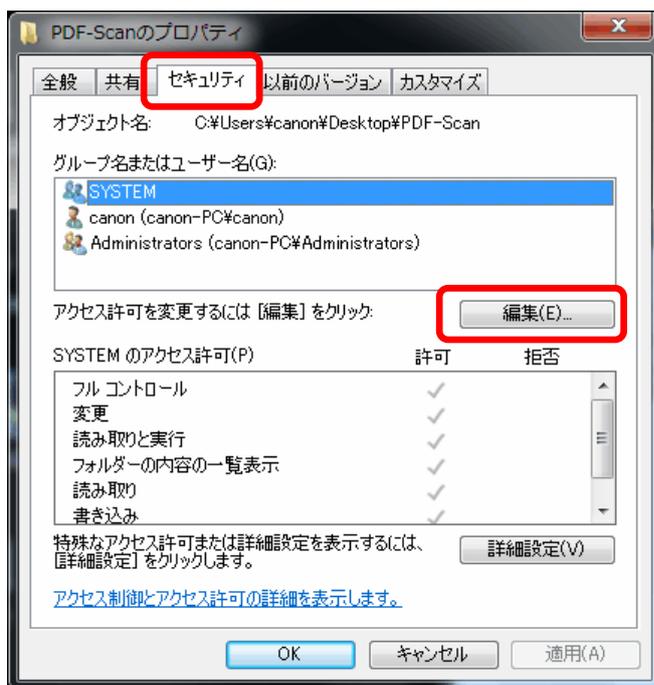
5. 共有のアクセス権の設定③

Everyone に変更の許可権限を加え、[OK]をクリックします。



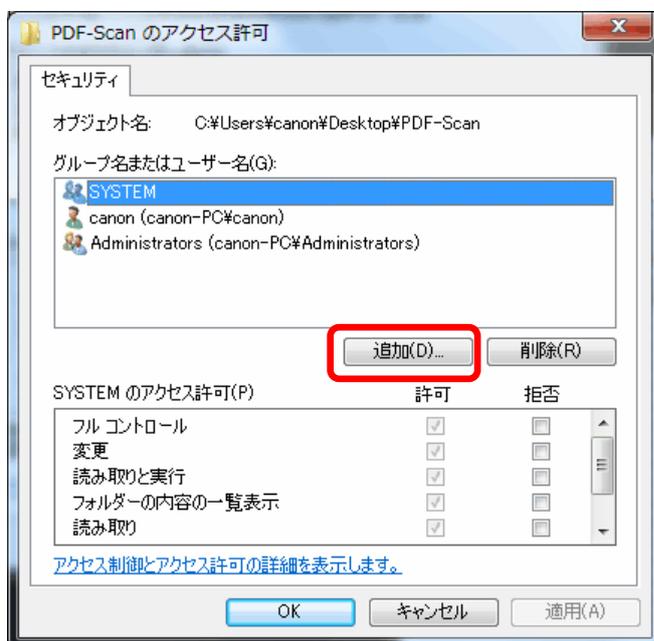
6. セキュリティのアクセス権の設定①

(手順 1-1 で作成しておいたユーザーアカウントを追加します。)
セキュリティタブをクリックし[編集]をクリックします。



7. セキュリティのアクセス権の設定②

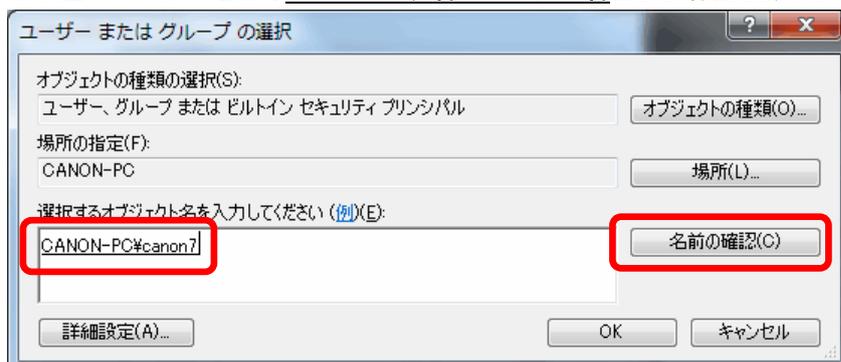
[追加]をクリックします。



8. セキュリティのアクセス権の設定③

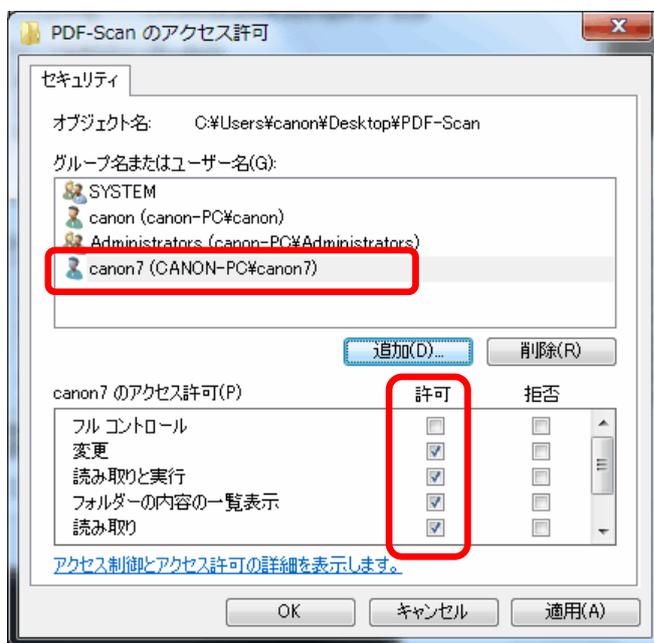
[選択するオブジェクト名を入力してください]の欄に、あらかじめ用意しておいたユーザーアカウント名(今回はcanon7)を入力し、[名前の確認]をクリックします。ユーザー名に下線が入ったら、[OK]をクリックします。

※下図: ユーザー名が、コンピュータ名¥ユーザー名となる場合もあります。



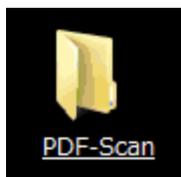
9. セキュリティのアクセス権の設定④

グループ名またはユーザー名 の欄に「canon7」が入っていることを確認し、変更のアクセス許可にチェックが入っていることを確認したら、[OK]をクリックします。



これで、データ送信先の共有フォルダーが作成されました。

※この時点では、従来の WindowsOS のように共有フォルダに手のマークや顔のマークは追加されません。



メモ

- ・ 以下手順にて共有がかかっている確認が可能です。

エクスプローラーにて該当フォルダを選択します。

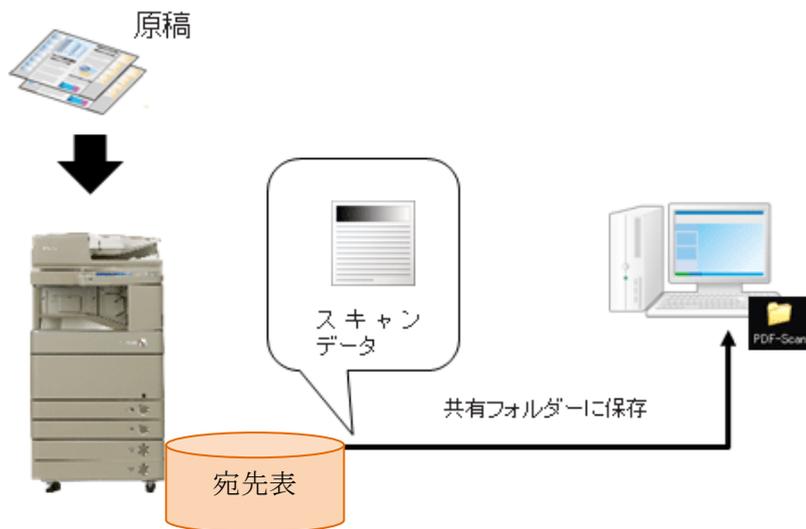
エクスプローラー下にある詳細ウィンドウに状況が表示されます



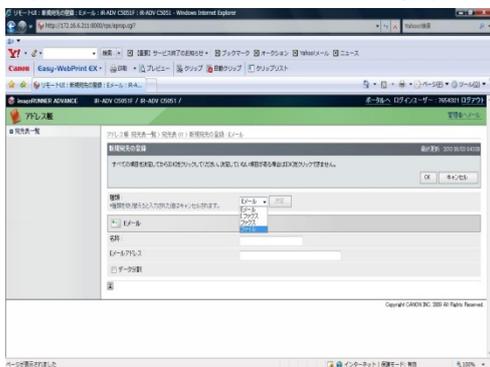
※状況に「共有」と人のマークが追加されます。

作業 2 iR-ADV 側の送信設定

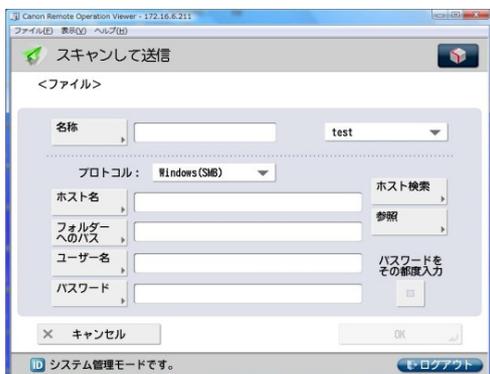
iR-ADV から送信する際の、送信先共有フォルダーを宛先として指定します。
大きく2つの方法があります。



* 設定方法1 リモートUIから設定



* 設定方法2 iR-ADV タッチパネルから設定

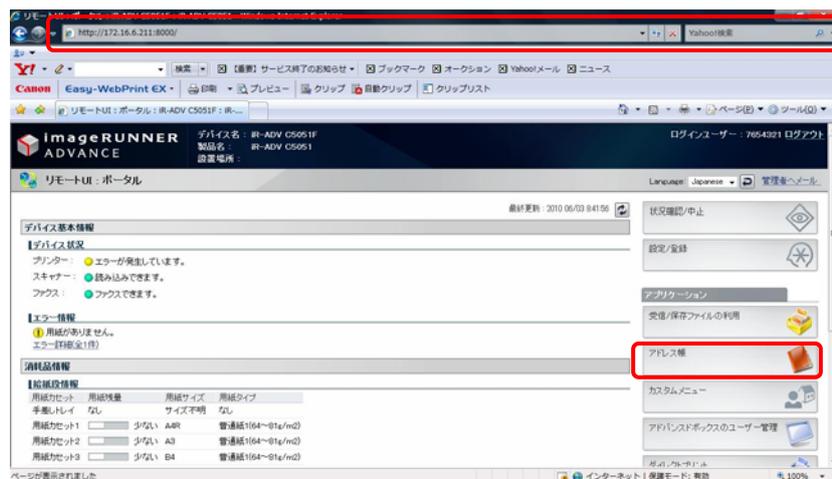


設定方法1 リモート UI から宛先の登録

リモート UI を使用すると効率よく宛先を登録できます。

1. Web ブラウザーを起動して[アドレス]に本製品の IP アドレスを入力します。

http://<本製品の IP アドレス>



リモート UI の画面が表示されます。

メモ

- ・ 本製品の IP アドレスは、操作パネルで  (初期設定/登録) を押して以下の手順で確認できます。

 (設定/登録) → [ネットワーク設定] → [IPv4 設定] → [IP アドレス設定]

※リモート UI でアクセスできない場合

- アクセスできない場合は、以下の手順でプロキシの除外設定を行ってください。

- (1) Internet Explorer → メニューバー → [ツール] → [インターネットオプション] → [接続] タブ → [LAN の設定] をクリックします。
- (2) 『プロキシサーバーを使用する』にチェックを入れ、[詳細] ボタンをクリックします。
- (3) 『例外 次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない』の空欄に本製品の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

※Web ページにメッセージが表示されリモート UI にアクセスできない場合

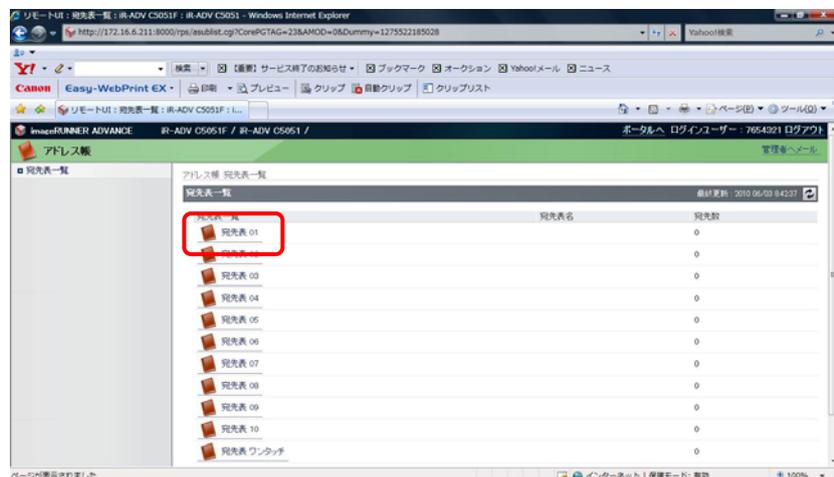
○Web ページが切れました:

- (1) メニューバーの [ツール] から [インターネットオプション] を選択し、「全般」タブの「インターネット一時ファイル」で [ファイルの削除] をクリックします。
- (2) ファイルの削除画面で [すべてのオフラインコンテンツを削除する] にチェックを入れて [OK] をクリックしたあと、ブラウザを再起動して再度リモート UI にアクセスしてください。

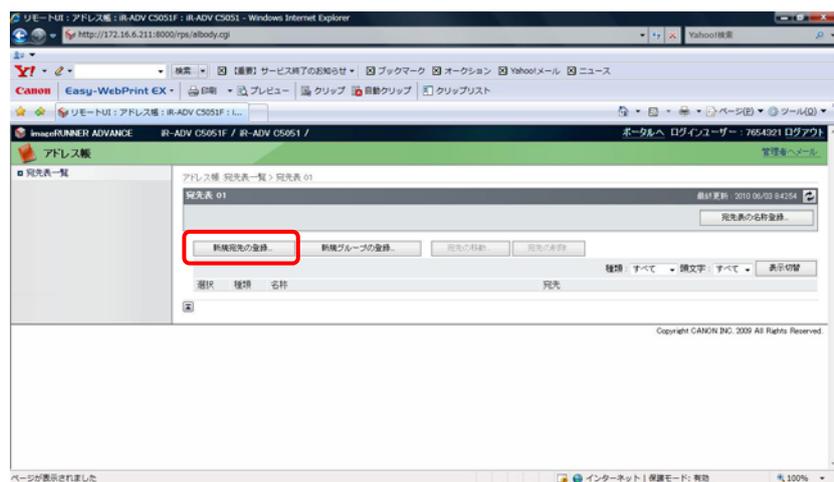
○HTTP 404 File Not Found:

IP アドレスが正しいかを確認してください。本体のネットワーク設定の IP アドレスの範囲設定をご確認ください。

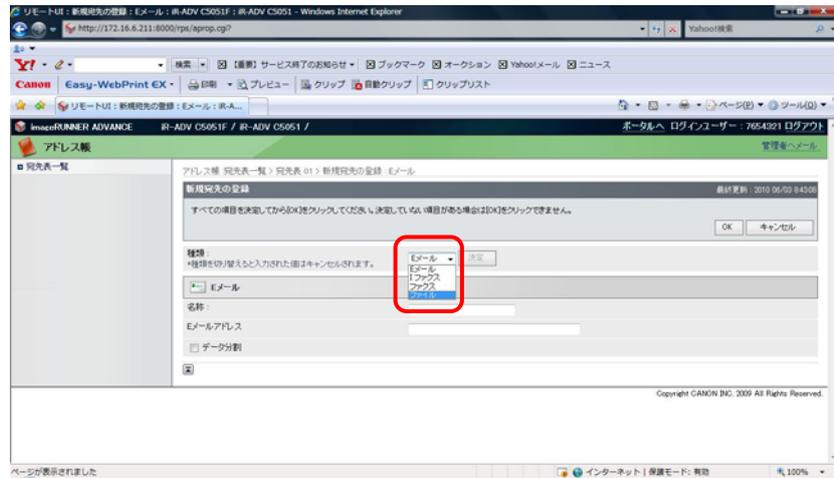
2. [アドレス帳]をクリックし、表示される宛先表画面で[宛先表 01]をクリックします。



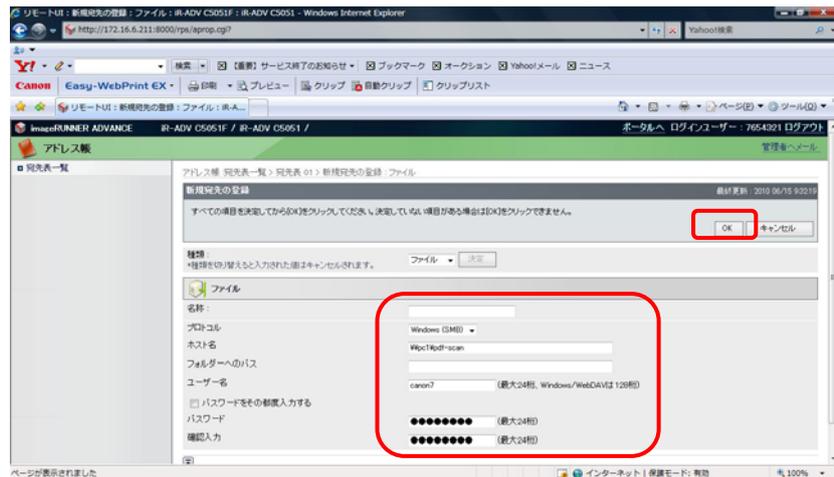
3. [新規宛先の登録]をクリックします。新規宛先登録画面が表示されます。



4. 種類で[ファイル]を選択し、[決定]を押下します。



4. 表示される「宛先の登録 ファイル」画面で各項目を設定したあと、[OK]をクリックします。



- | | |
|-----------|--|
| 名称 | 宛先の名称を入力します。任意の名称をつけることができます。 |
| プロトコル | 「Windows (SMB)」を選択します。 |
| ホスト名 | ¥コンピュータ名¥共有フォルダー名
今回の場合は ¥¥PC1¥PDF-Scan 「共有フォルダーを作成」の手順
であらかじめ確認したコンピュータ名を入力します。 |
| フォルダーへのパス | PDF-Scan の中にサブフォルダーを作成し、送信する場合
「¥サブフォルダー名」と入力します。サブフォルダーがない場合は、
入力しません。 |
| ユーザー名 | 送信者用のユーザーアカウント名(あらかじめ作成してある)を入力
します。この資料の解説では、ユーザーアカウント名: canon7 |
| パスワード | 上記ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
この資料の解説では、パスワード: password |

以上で送信先が登録されました。

設定方法2 iR-ADV のタッチパネルから宛先の登録

タッチパネルからも宛先を登録できます。

ここでは、例としてワークグループ名が「swan」、送信先 PC 名が「PC1」という環境だと仮定し、ユーザーアカウント「canon7」で送信設定を行う方法をご紹介します。

- ユーザーアカウント : canon7
- ワークグループ : swan
- パスワード : password
- 送信先「PC」: PC1
- 共有フォルダー名 : PDF-Scan

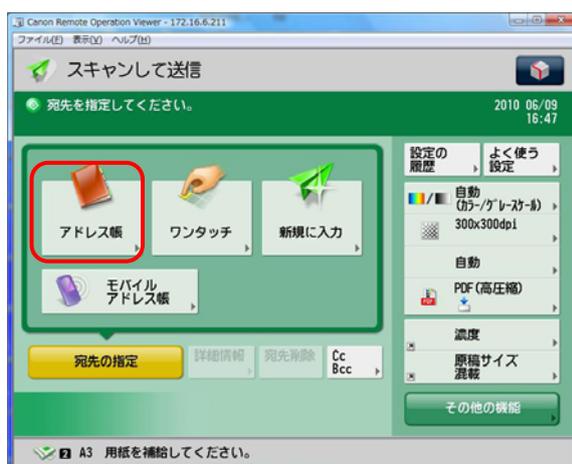
1. タッチパネルディスプレイで[スキャンして送信]を選びます。



メモ

[スキャンして送信]が表示されていない場合は、[すべて表示]を押します。

2. [アドレス帳]を選択します。



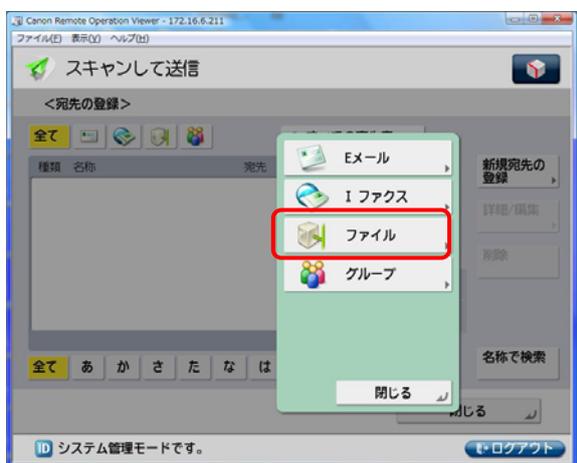
3. [登録]を選択します。



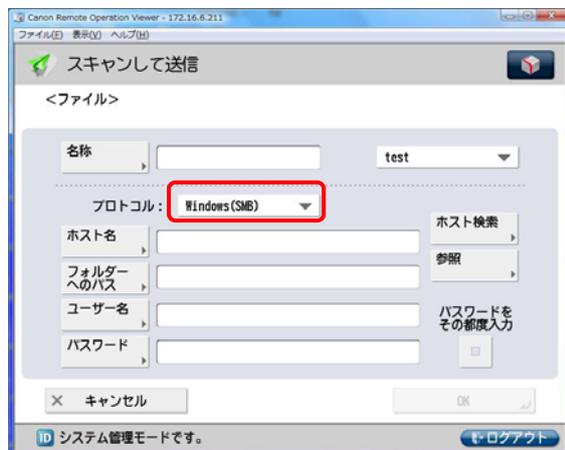
4. [新規宛先の登録]を選択します。



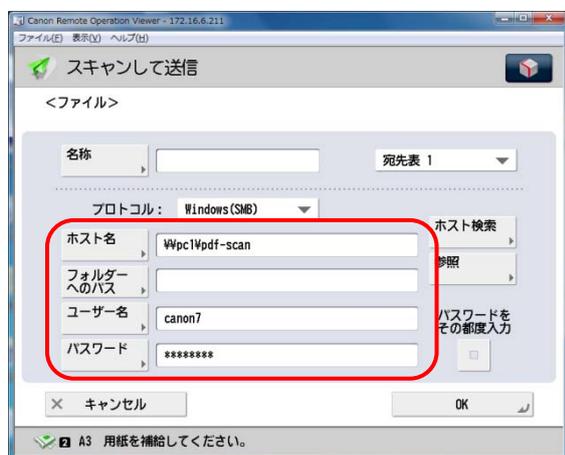
5. [ファイル]を選択します。



6. プロトコルのドロップダウンリストから[Windows(SMB)]を選択します。



7. 登録する宛先の名称を入力し、(任意の名称:宛先選択の場合の表示名)「ホスト名」、「フォルダーへのパス」、「ユーザー名」、「パスワード」へあらかじめ設定・確認しておいた内容を入力し、[次へ]、[OK]を押します。



以上で、宛先の登録ができます。

メモ

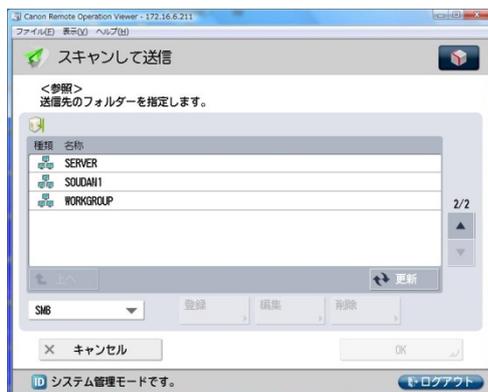
「ホスト名」には共有フォルダーまでを入力します。

例: ¥¥コンピュータ名 ¥共有フォルダー名

「フォルダーへのパス」には共有フォルダー以降のパスを記載します。

例: ¥フォルダーパス

8. コンピュータ名がわからない場合など、ネットワーク上のコンピューターを「参照」して送信宛先を設定することが可能です。
手順6、で参照ボタンを押し、以下の画面から必要な共有フォルダーを参照し、設定を進めます。この場合「PC1」はワークグループ名 : swan に所属している
ので swan から順に選択していきます。



9. 送信先 PC を選択して[下へ]を押します。
10. ネットワークパスワードの入力画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。
11. [下へ]を押して送信するフォルダーを選択した後、[下へ]を押します。
最後に[OK]を押します。
これで、手順7と同等の状態になります。

メモ

参照ボタンでネットワークに接続されたコンピューターが表示されない場合
ホスト名の入力欄に『IP アドレス』を入力します。コンピューターの IP アドレスは以下のような方法で確認することが可能です。

- コマンドプロンプトから確認する方法
[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックしたあと、「cmd」を入力します。[OK]をクリックすると DOS コマンドへ移行するので、「IPCONFIG/all」を入力します。Enter キーを押すと、コンピューターの IP アドレスが確認できます。
- ネットワークから確認する方法
Windows 7 の場合は、ネットワークを右クリックしたあと、[プロパティ]を選択し、ネットワークと共有センターを表示します。アクティブなネットワーク接続の表示の接続:[ローカルエリア接続]をクリックして[プロパティ]を選択したあと、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択します。[プロパティ]をクリックすると、[全般]タブが表示され、コンピューターの IP アドレスが確認できます。

本体からの送信方法

例: あらかじめ設定した送信宛先(PCの共有フォルダー)へ、高圧縮PDFで原稿を読み込み、送信する場合

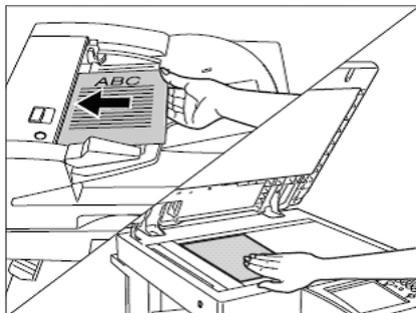
1. タッチパネルディスプレイから[スキャンして送信]を選択します。



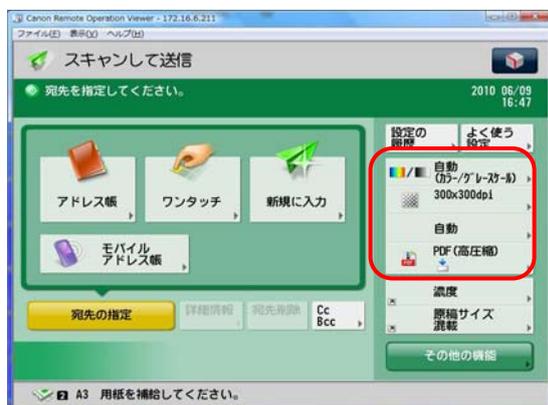
メモ

[スキャンして送信]が表示されていない場合は、[すべて表示]を押します。

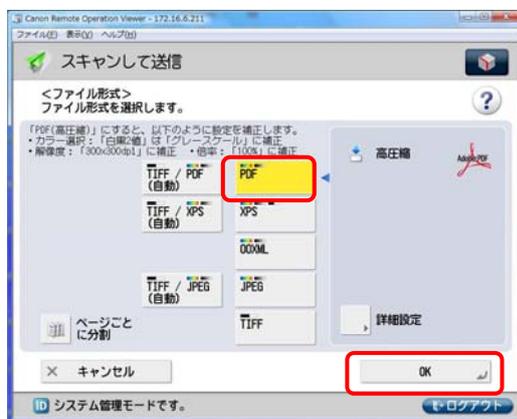
2. 原稿をフィーダーにセットします。



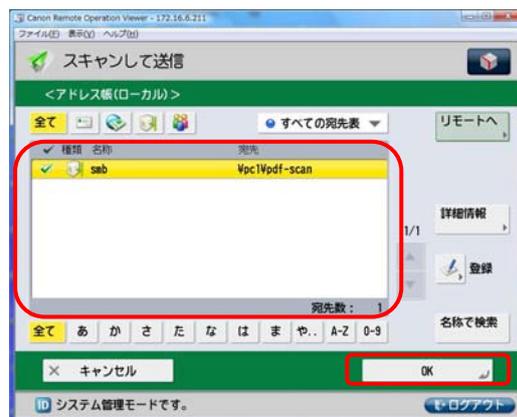
3. 必要に応じて[ファイル形式]を選択します。



4. [PDF]と[高圧縮]を選択して、[OK]を押します。



5. [宛先の指定]を押したあと、宛先を選択し、[OK]を押します。



6. (スタート)を押します。

原稿が PDF 化されて送信され、共有フォルダーに保存されます。

送信文書名は、年月日時間の数字が羅列されます。「年月日時間」の前に任意の文字入力追加もできます。

例: 20090719170012.pdf